



croisements: 東京版 □ n°.4 三つの独演・即興

2010/11/27 (sat.) 16h00 ¥2,000(1ドリンク込み)



川野眞子 舞踊家

国内をはじめアメリカ、カナダ、ドイツ、オランダ、デンマーク、オーストラリア、など世界各地でダンサーとして活動し、2005年 文化庁新進芸術家公演事業『さーかす』を振付、新国立劇場DANCE EXHIBITION(2006)、新国立劇場ダンス名作展(2008)、アメリカン・ダンス・フェスティバル(2008)、ドイツ・ツアー(2009)各地を廻る他、文化庁本物の舞台芸術体験事業、文化庁芸術の魅力発見事業、TVドラマの振付・指導など幅広く活動している。

(財)松山バレエ団芸術奨励賞 東京新聞中川鋭之助賞 (社)現代舞踊協会「新人賞」、「ベストダンサー賞」

<http://natural-dance.com/>

秋山徹次 guitar奏者

ギタリスト。1964年4月13日東京生まれ。ギターという楽器の持つ特質に、自身の欲求をミニマルかつストレートな形で加えていくことによる、原始的で即物的な意味合いを含んだ演奏を得意とする。ミクロからマクロに至る音量を、繊細に、ときには大胆にコントロールし、身体のエレクトロニクスを試みる

<http://www.japanimprov.com/takiyama/takiyamaj/>



高橋英明 音楽家

繊細さと攻撃性、緻密さと大胆さといった2律背反するエレメントが常に創造の根底に潜在し、それらの拮抗から生み出される"緊張感"が特徴的。これまでに、mjuc、deep frame、nature blunt 名義でのCDリリースがある。またメディアアート作品や、ダンスや映像など他ジャンルとのコラボレーション作品での発表も多く、その活動は多岐にわたっている。CF音楽なども数多く手がけている。

<http://www.aiding.jp/mjuc>



企画の原型はフランス、トゥールの在住のミュージシャン・サウンドアーティストのPascal Le Galのアイディアで、彼は3年前からcroisementsというソロ・インプロヴィゼーションのフェスティバルを開催している。

フェスティバル開催は、“システムティックな音楽的思想から生まれたフォームが必要とされ、その音楽的思想には、勿論、個人的なものの全てが含まれる”という彼の即興音楽に対する考察から成り立っている。

ソロだけを複数取り上げる、ということに寄ってその考察を浮き彫りにしようという試みである。

東京版主催: 松本充明

more info : <http://croisement.blog!29.fc2.com/>